

科学英語（2単位）

担当者氏名 岩永弘人

◆学習・教育目標

この講義では、大学院において辞書と文法書の助けを借りながら、英語の文献を読み、理解することができるような、柔軟な語学力の養成をめざす。講義の具体的内容は、林学関連の文献を、輪読形式で読み、説明や要約を求めることが中心となる。その際、文献の内容もさることながら、その形式や専門用語などの使用法にも留意して、林学のエキスパートとして遜色のない英語力を身につけてもらえるよう考慮したい。その他に、発信型の講義も2、3時間とり入れ、それぞれの研究分野に関して、短いプレゼンテーションを行なってもらい、それに対する質疑応答ができるような雰囲気作りを試みる。

全体と言える事は<科学英語>という特別な英語があるわけではない（ちょうど<科学日本語>がないように）、という事を常に念頭において、英語の基礎力（特に単語力と構文力）を確実に自分のものにする事を日々心がけて欲しいと思う。語学は<学>という字はつくが、学問ではなく、訓練なのであるから。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

英文読解	パラグラフリーディング	パラグラフィティング	英語によるプレゼン
英語による質疑応答	基礎英文法の復習	基礎構文の復習	英語辞書の使い方

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス	必要な辞書の紹介、図書館、ネットの活用法	2～10 自分の専門分野でなくとも、必ず予習し、また講義の際も必ず辞書を持参すること。
2	読解1	森林情報文化分野1	
3	読解2	森林情報文化分野2	
4	読解3	森林環境保全分野1	
5	読解4	森林環境保全分野2	
6	読解5	森林資源生産分野1	
7	読解6	森林資源生産分野2	
8	読解7	森林資源利用分野1	
9	読解8	森林資源利用分野2	
10	読解9	総合的内容1	
11	読解10	総合的内容2	11 前もってプレゼンの原稿を作っておくこと。 12～13 当日必要な配布資料があったら人数分作っておくこと。また特殊な用語などは前もって黒板に箇条書きをするなど工夫すること。
12	プレゼンの準備	各自の内容に応じて個別に対応	
13	プレゼン1	各自の専門についての発表、質疑1	
14	プレゼン2	各自の専門についての発表、質疑2	
	まとめ		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
教科書はプリントを使用する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
英語論文によく使う表現／崎村耕二／創元社

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業中の予習やプレゼンのやり方で評価する。

◆その他受講上の注意事項

出席は重視するが、予習しないで出席しても学習効果はうすいので留意してほしい。